



E-AGILITY協議会(仮称) 設立のご挨拶

設立準備委員会幹事代表
株式会社 シナジー研究所
依田 智夫

E-AGILITYの世界へようこそ

- ITユーザーにITを使いこなす喜びを
- IT開発者にシステム作りの喜びを
- 二つの役割の相乗効果で、すごいことができるはず



Enterprise Agility

時代を支える使命と責任に見合う喜びを実現したい
かつて時代を支えた産業が皆そうであったように

E-AGILITY協議会の経緯

- 本年3月 私(依田)と牛尾剛氏が、システム開発の明日のために、何か動きをつくらなければと、都内某所で盛り上がる。
- 本年4月 有志7名が集まり、思いを共有
- 本年8月より、E-AGILITYカンファレンス2010の準備を始める
- (株)テクノロジック・アート様内に事務局を設置
- 現時点までに、11名が設立準備委員会に参加
- 本日、カンファレンス開催
- メディアスポンサーに感謝します
 - 技術評論社様

設立準備委員

- 長沢 智治 (マイクロソフト株式会社)
林 衛 (株式会社アイ・ティ・イノベーション)
三井 伸行 (株式会社戦略スタッフサービス)
中山 嘉之 (協和発酵キリン株式会社)
松本 聰 (データ インパクト/DAMA日本支部)
細川 馨 (日本アイ・ビー・エム株式会社)
永瀬 美穂 (株式会社ディアスクエア)
上田 雅美 (株式会社 匠BusinessPlace/株式会社ア
ネゴ企画)
- [幹事]
依田 智夫 (株式会社シナジー研究所)
牛尾 剛 (株式会社匠BusinessPlace)
長瀬 嘉秀 (株式会社テクノロジックアート)

E-AGILITY協議会のテーマ(例)

- 日本のシステム開発はこのままで良いのか
- ウォーターフォール型一括請負だけで良いのか
- 反復型開発って、どうやるの？
- アジャイル(型)開発って、どうやるの？
- 実際の契約はどうするの？
- ユーザー企業の取組は？
- 開発会社の提案は？
- 成功事例は？
- 注意点は？
- ツールは？

特に力を入れたい
開発企業の皆様、ご協力
よろしくお願いします。

E-AGILITY協議会の今後

- 年2回のカンファレンス開催を目指す
- 準備委員会組織を軌道に乗せ、来年度の正式発足をを目指す
- 企業会員と個人会員を募る
- ユーザー企業・団体と開発企業のバランスのとれた会員構成を目指す
- 来年度からは、分科会活動も実施して成果を出したい

皆様のご支援を
よろしくお願いいたします。